

こんにちは

はっちゃん奮戦記

日本共産党 大久保八太議員ニュース

市議9期目
No. 1
2005. 7. 5

大分市萩原3丁目13-5
TEL (097) 558-2723
FAX (097) 551-0210

第二回定例議会が開かれる



一般質問をする
大久保八太 議員

住民犠牲の行政改革へ本格的に着手

六月十三日から二十七日までの会期で開かれました。釘宮市政は、提案理由の説明で「行政改革は避けて通れない」とし「学校給食やゴミ収集などの民間委託など民間活力の導入」などを強調、さらに、幼稚園の廃園もすすめようとしています。そして今後八年間に市職員五百名を削減することも発表しました。市民の目線でムダを省くことは当然ですが、行政改革の名のもとに暮らしや福祉・教育の予算を削減し、市民に犠牲を強いることは許されません。日本共産党は、大分川ダム建設や、大分駅南開発などムダな大型事業の見直しを要求してきました。地方自治体の本来の仕事は、住民の安全と健康・福祉を守ることです。そのために全力を尽くします。

「ばいじん公害」追及

一般質問で、大久保八太議員は、三月議会につづいて新日鉄の「ばいじん公害」対策について質問しました。背後地区住民は「気管支炎がなかなかよくなるらない」と訴える高齢者や「子

供のぜんそくが心配」という若い主婦の声を紹介し、「ばいじん公害」はいつこうに改善されない、住民は、県や市に対する不信が高まっていると厳しく指摘。ばいじん公害がなくならない要因は何かと質問しました。又、集じん機の写真を公開しない新日鉄の姿勢を批判、さらにばいじんを根絶するための対策と計画書を企業に作らせよ、と迫りました。

関環境部長は、「過去五年間の降下ばいじん量は横ばいの状況、今後きめ細やかな監視を行う」ともたもたな答弁をしませんでした。ばいじん公害をなくすためには、世論と運動が決定的です。ばいじん公害をなくす会を大きくしていきます。

又、大久保議員は、憲法改悪問題、「公の施設」の管理を民間営利会社に拡大する「指定管理者制度」などについて質問しました。

日本共産党市議団が議案提案権を行使

●高齢者の強い要望でもあり、市議選の公約でした敬老年金の復活の議案
●市長、助役など常勤特別職の退職金を減額する議案
さらに、市会議員の費用弁償（市会議員が議会に出席した時、一日当り七、〇〇〇円支給されている）を廃止する議案を提案しました。



トキハ前で宣伝行動



原水爆禁止・平和行進

常勤特別職の退職金

市長	3,400万円
助役	1,737万円
収入役	1,000万円
教育長	951万円

一般職員並にすると約6千万円の削減ができ市民のために使われる

市会議員の費用弁償年間

1,648万円
節約できる!!

自民党、公明党、社民クラブ、新市民クラブ（企業代表）、おおいだ市政クラブ、無所属オール与党が否決。なんと市民に冷たい姿勢ではないでしょうか。市議団は、今後共、みなさんと力をあわせて、実現のためにがんばります。

生活相談日誌

保険証ももらえて喜ばれる

「国保税が高くて大変、なかなか払えない」。しかし、小さい子供が二人いて、病気をよくするので、保険証がないと困る。滞納しているので保険証がないという相談に、若い主婦が来ました。さっそく、国保課に行き、滞納額の一部を払い、残りは、分割上納の約束をして保険証をもらうことができ、喜ばれました。みなさんの困っていることは、何でも、お気軽に御相談下さい。



暖流

みなさん御存知ですか。市長の退職金四年間で三、四〇〇万円。一般の市民のみなさんが知れば、ビックリではないでしょうか。中央の特別職の退職金並にすれば四五〇万円です。

市会議員の費用弁償一日七、〇〇〇円。議員報酬をもらい、政務調査費をもらい、日当まで、これは二重取りでは？、行政改革を云うならまず、こういうところから手をつけるべきではないでしょうか。市議団のホームページを開設しました。アクセスして下さい。

赤旗新聞を 読んでの感想

「はっちゃん奮戦記」では、赤旗新聞を讀んでの感想や御意見を掲載します。すすんで、投稿して下さい。よろしくお願ひします。



ほんとうのこと、遠慮なく書いてるね。

平和をつくる 暮らしに役立つ 人間を大切にする

しんぶん 赤旗

あなたも、ぜひ

●日刊紙 月2900円 大判16ページで、毎日お届けします。
●日曜版 月800円 タブロイド判・週刊新聞(36ページ)です。

http://www.jcp.or.jp